

人みなに美しい種子あり 明日には何の花咲く

先日、技能主査の大江山さんが、しよわりの種子をまいていた。ふと、目頭の言葉が浮かんだ。

種子とは、それぞれが持っているよこ、特性、可能性と読める。

しかし、いくら美しい種子を持っていても、土にまいて水や光を与えなければ、美しい花となり実をつけることもない。

一方、種子とは、私たちの行いとも読める。

しよわりの種子をまけば、しよわりがでてくるようにまいた種子(行い)に応じた結果が現れるということになる。

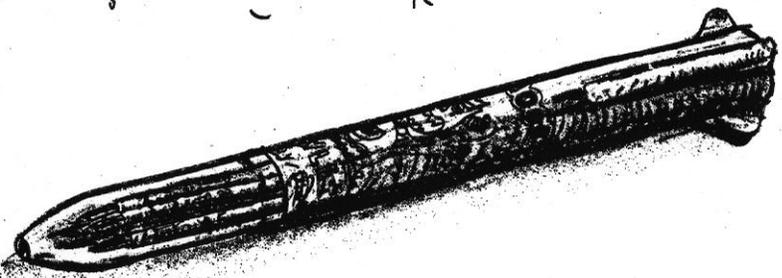
美しい種子(行い)からは善い結果、悪い種子(行い)からは悪い結果が現れるという事だ。

そこで壁に向かって投げつける球を考えてもらいたい。

強い球を投げつけければ、勢いよく自分にはね返ってくる。優しい球が欲しければ、優しい球を投げなければならぬ。

このことは人の接し方にも通じることではないか。

今後、君たちはどのような種子をまき、どのような花を咲かせ、どのような実をつけるのだろうか。



福三軒
校長室
だより

ほたる草

平成二十八年六月十七日(金)

NO.104

樹も草も
しやかに
梅雨はじまりぬ
日野草子城